

広報

# ひゅーか

おもな内容

■市政の基本方針と重点施策／うるおいと  
 生きがいのあるまちづくりを…2,3,4,5ペ  
 ージ ■みんなのページ／わが家のあったかメニュー  
 私の趣味, がんばっちょるヨー, じょうずでショほ  
 か…6, 7ページ ■障害者をあなたの職場に, フォ  
 トースほか…8, 9ページ ■伝言板…10,11,12ページ

'89  
 8  
 (NO.412)

平成元年8月21日発行

編集/日向市役所企画課 日向市本町10番5号 ☎52-2111

# 市政の基本方針と重点施策

# うるおいと生きがいのある まちづくりを

市長、市議会議員補欠選挙後初めての日向市議会は、七月二十八日から八月二十一日までの二十五日間の会期で開かれました。

議会には最終日の追加議案一件を含め、報告、人事案件、条例、事件決議、補正予算など十五件が提出され、審議の結果、原案とおり承認、同意、可決されました。

また、開会冒頭に第十一代日向市長の三樹博市長が、市政の基本方針と重点施策を表明しました。人事案件二件のうち一件は助役の選任で、和田助一氏が選任されました。

これらの中から、三樹市長の所信表明をご紹介します。



所信を表明する三樹博市長

## 市政の基本方針

### 清潔、公平、誠実 な市政運営に 努めます

私は、昭和三十二年度から二十六年間にわたり、国家公務員として会計検査院に奉職し、国の各省庁や公社、公団等の行財政を通じて、文字どおり全国の地方公共団体の実態に触れ、そのあり方をつぶさに携わってきた。

これによって得られた知識と数多くの知人は、私にとって何ものにもかえがたい財産であると自負するとともに、この財産を郷土の発展に生かすことができるなら、これまた無上の喜びであり、私を育てた郷土にいくらかでも恩返しができるのではないかと感じたところです。折しも隣接の延岡市からの要請もあり、県北の一体的な発展に少しでも役立つならばと、短期間ではありますが延岡市助役を勤めさせていただきました。行財政の運営を身をもって実施するとともに、日向市の近くにあつて別な見地から日向市政を観察する機会が得られました。

さて、市政の取り組みに際しては、当然のこととして先に生じた不祥事によって失われた市政に対する信頼を一日も早く回復することが最優先であることは申すまでもないことであり、そのためには清潔、公平、誠実な市政運営に努めることこそがその最短距離であると思っております。

また、地方財政の問題も大変重要です。いま、日向市をはじめ大部分の地方公共団体が多額の地方債を抱え、その償還金が財政を圧迫していることから、私は国や県との連携を密にして、信頼関係を築き上げることで国や県の制度事業を確保し、住民福祉の向上と財政基盤の強化をはかります。

以上、今後四年間の市政を担当するにあたっての基本姿勢の一端を申し上げましたが、その根幹とするところは、市民のみなさんが希望にあふれ健康で心豊かな、そして日向市に住んで本当によかったといえるような「うるおいと生きがいのあるまち」をめざして、つぎに掲げる市政の柱の実行に努力したいと思います。

一、豊かな自然を生かした美しく住みよいまちづくり

## 重点施策

### 日向市は東九州の玄関。工業都市としての諸条件にも恵まれています

一、健やかで心のかような明るいまちづくり

一、安全で快適な生活ができるまちづくり

一、人間性豊かな教育、文化のまちづくり

一、産業が栄える活力のあるまちづくり

全国にも例を見ない天然の良港である細島商業港と工業港の活用こそが市発展の基礎であると思っております。南九州の農産物を大消費地である関東、関西方面へ運ぶには最も近い距離に

### 助役に

#### 和田助一氏を選任

【略歴】昭和四年七月五日生まれ（六十歳）。昭和二十一年三月に県立延岡商業学校卒業、同



年四月富高町役場勤務。二十六年四月日向市役所職員、現在に至る。

その間、教育委員会総務課長、教育長職務代行、保険年金課長、福祉事務所長、税務、人事、職員、総務課長（選挙管理委員会事務局長・水道課長兼務）、助役職務代行の要職を歴任。

また、昭和三十七年から保護司の役職に在り、現在に至る。

大王町二丁目に在住。

とになり、さらに本州の北端から宮崎市までの間が自動車道で結ばれ、県北はいよいよ高速時代に大きく立ち遅れることになりました。なんとしても東九州自動車道の早期着工を最大の課題として県北の総力をあげて取り組みます。

県北空港建設については、昭和六十二年、六十三年度県北地域航空システム研究会が専門機関に委託していた可能性調査最終報告が提出されましたが、それによると滑走路延長千八百メートルの建設は不可能ではないが、膨大な建設費と難工事が予想されることから、たいへん厳しいという判断が示されたところです。しかし、県北の将来を展望す

### 都市基盤の整備

どれもが豊かな自然の中で安全で文化的な暮らしのできる環境を願っています。

日向市は美しい海や山の自然条件には恵まれているものの安全で文化的という面からは、まだ満足のいくものではありません。もちろん、今日まで歴代の市長さんが日向市建設のために、決して豊かではない財政の中から最大の努力をして取り組んできた事業がこの都市基盤整備の諸事業ですから、まさに百年の計をもって取り組むべきことと

思っています。

今後は年次計画的に土地区画整理事業、公共下水道事業、都市下水路事業、公園事業、街路事業、生活道路等を推進します。

ただ、これら公共事業は現在実施中のものをなるべく早く完成させ、新規事業の確保に努めますが、事業の実施にあたっては関係住民のご理解とご協力が大前提であることは申すまでもありません。

### 教育

まもなく訪れる二十一世紀に向けて、私たちの日向市が豊かに

に発展するその基本は教育にあると信じます。

戦後四十四年を経た今日、わが国教育の水準は世界のトップレベルにあるといわれながら依然としていじめが横行し、非行の低年齢化が進むなどの事象が生じていることは誠に残念と言わざるを得ません。

日向市の明るい未来を期待して、たくましく、心豊かで、郷土愛に燃え、国際社会に貢献できるような調和のとれた児童、生徒の育成ができるよう教育現場でのきめ細かい指導を期待するとともに、教育環境の整備充実、学力向上のための教育教材等の充実に努力します。

また、近年生活水準の向上や自由時間の増大に伴い、人生の各成長過程における課題や生活課題などを学習する社会教育の重要性もますます高まっています。各自が各自の最も適した時期に最もふさわしい学習ができるようその機会の提供等に努めます。

文化の振興についても市民のみなさんは音楽、演劇などの鑑賞や諸文化行事に参加するなど心の豊かさや潤いのある生活を求めています。文化交流センターが完成しますと、さらに各般にわたる文化行事の開催もまた自らの参加の機会がふえるものと期待しています。

企業誘致と商工業の振興

# 企業を誘致して雇用の場を創出し、市の活性化をはかります。

今回、私が日向市政に取り組む決意をした要因の一つが前述のとおりで、いま一つが企業を誘致して雇用の場を創出し、ひいては市の活性化をはかりたいという念願です。

最近の県内の企業誘致は、交通網の整備が進んでいる県央や県西部に偏る傾向が見られますが、日向市には港湾や工業用水、工場敷地が整っており、この条件に適合する企業もあると

信じています。

企業誘致は、これまで県との協力によって取り組んできていますので、今後ともこの協力体制を維持しながら、私は私なりに今日まで取得したあらゆる情報、手段を活用して誘致活動にまい進します。

商工業の振興、なかんずく商業やサービス業振興については地域の活性化が最も有効な振興策です。企業が進出して雇用が進み人口や所得が増え、また他地域との人、物の交流が盛んに

なるとそこに自ら活性化が生まれひいては商工業の振興につながってきます。

このほか、行政としては、従来からの中小企業向けの設備投資等、経営基盤の安定化のための金融施策や地域に根差した祭礼、各種イベントの実施も振興策として重要で、継続していきたいと思います。

## 福祉

生活保護、児童福祉、老人福祉、身体障害者福祉等、各般にわたる福祉施策は人の生活に深くかかわり合う、いずれも重要な施策です。中でも近年とくに大きな社会問題となっているのが急速に進む高齢化から生じる老人福祉の問題です。

ご承知のようにわが国は、高齢化と核家族化が相乗して、独りまたは二人暮らしの老人家庭が増え、しかもますます増加することが必至となっています。

このような状況から今後の老人福祉のあり方としては、老人ホームなどの施設福祉はもちろ

ん、老人クラブへの援助、シルバー人材センターのような老人への就労あっせんなどの社会参加促進事業、さらにはねたきり老人へのヘルパー派遣事業、老人等をデイ・サービス施設に通所させて各種サービスを提供するなどの在宅福祉が今後の重要な施策になると予想していますので、国、県にその充実を要請してまいります。

## 健康づくり

医学が格段の進歩をとげ、生活環境の整備が進む中において市民の健康水準は著しく改善されてきていることは喜ばしい限りです。

しかしながら、時代の移り変わりとともに市民の健康に影響を与える要因は複雑かつ多様化して、さらに成人病が増加していることはご承知のとおりです。健康こそ幸せの源泉という立場から「自分の健康は自分で守る」という健康の自主管理の自覚をいっそう高めるための健康づくりを推進します。

## 農林水産業

農業をとりまく情勢は、諸外国の農産物の過剰基調から農畜産物の市場開放要請がいちだんと強まるなど、内外の環境条件はますます厳しさを増し、数多くの難題を抱えた国の対応が注



健康こそ幸せの源泉です

目されています。

このような状況のもと、今後の農業はどうあるべきか、やはり国、県の指針に添いながら、わが国のすぐれた高度技術を生かした農業や地域の特性を生かす特産物の生産、農業基盤の整備、野菜、花き、養蚕、養鶏、養豚、肉用牛などの国民の需要の動向に即した農畜産物生産の振興がその基本であると思えます。また、大消費地いかに新鮮なものを届けるかという流通機構の改善、確立も重要課題の一つです。

林業については、近年生産コストの上昇や木材価格の低迷が続いていますが、林業施設の共同化、後継者の育成、生産基盤の整備によってすぐれた林業を造成し、木材生産の増大をはかる一方、木材の流通機構の整備の必要性も痛感しているところ



県との協力体制を維持しながら、積極的な誘致活動を進めます

# 大消費地いかに新鮮なものを届けるか——という流通機構の改善、確立も重要課題の一つ。

です。

漁業についても、農業同様厳しい状況下にあります。遠洋漁業の減少で輸入が年々増加していることからどうしても沿岸漁業に依存する傾向にあります。したがって、そのためには計画的な築磯、魚礁の設置を行い、回遊する魚類の停留や増殖をはかるほか、漁業技術の高度化や漁港などの整備が必要です。

## 観光リゾート

日向市にはすぐれた自然、文化、貴重な歴史、伝統産業など豊かな観光資源に恵まれているものの一般的には観光都市としての印象が薄いというのが現状です。

また、国民の生活態様の変化によって、わが国も次第に欧米型の長期滞在の保養——つまりリゾートの時代へと移行してまいります。ご承知のとおり宮崎市周辺および県南地域が総合保養地域整備法に基づく指定を受け、すでに民間を主体とした保養施設などの建設がスタートしています。

県北にも各所にリゾート地としてすぐれたところが多く、先に森ビル観光株式会社が日向市進出を決めたことは喜ばしいこととであり、一日も早い進出を歓迎するとともに、市としても協力すべきことは惜しまないつも

りです。

また、私はこの機会に県北が一体になって、各地の観光資源の魅力を生かし、四季折々の伝統行事や各種イベントと組み合わせ

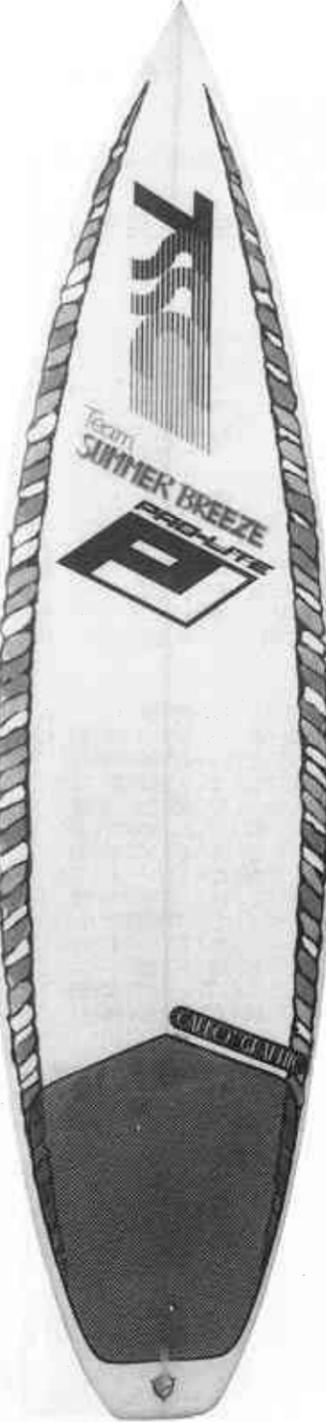
## おわりに

以上、日向市政に取り組むにあたり、その基本方針の一端を述べましたが、この基本方針は今後四年間にわたる基本構想を述べたもので、毎年、年度当初に披れきされる「基本方針と重点施策」とは多少趣をかえ、具体性を欠いています。ご了承ください。個々の施策については、今後その機会に申し述べます。

ただ、最近の状況として、つぎの二点について申し上げます。まず、懸案となっています。それと創生事業についてです。すでにいくつもの市町村でそれぞれ独自の発想が公表されてい

ます。また、本年度ふるさと川モデル事業として、庄手川が建設省の指定を受けたことは、ご承知のとおりです。

自然とふれあい、憩いと安らぎの場所として、また、日向市の海の玄関として整備されることはたいへん喜ばしいことであり、ご高配をいただいた関係当局に感謝の意を表したいと思います。まだまだ未熟で、考慮不足の点多々あることと思いますがその節はご注意、ご叱正をいただき重ねてご指導とご鞭撻をお願いいたします。





献血は心の贈りもの

9月のスケジュール

4日(月)	日向市役所	10:00~15:00
12日(火)	東ソ	10:00~14:00
	日向郵便局	14:30~16:30
13日(水)	九電日向電力所	9:00~11:30
	和田病院	13:00~15:30
21日(木)	日向農協・美々津支所	9:30~10:30
	日本プロイラー	12:00~14:00
	三股病院	14:30~16:00

募集します 心の輪を広げる体験作文

障害を持つ人と持たない人が、学校や社会生活、社会活動などで、お互いに心の体験を通じて学んだことや感じたこと、社会に訴えたいことなどを作文に書いてみませんか。

主催 総務府障害者対策推進本部と宮崎県

テーマ 出会い、ふれあい、心の輪——学校、職場、家庭であなたの体験を広げよう

応募資格 小学生（盲学校、ろう学校および養護学校の児童を含む）以上。

応募方法 ①小学生、中学生、高校生および一般の4部門 ②小中学生は、400字詰め原稿用紙2~4枚。高校・一般は5~8枚程度 ③別紙にタイトル、氏名、年齢、性別、職業または学校、学年、住所、電話番号そのほか参考事項（障害の有無など）を記載して添付する。

表彰 各部門ごとに最優秀1遍、優秀3遍、佳作5遍を選び表彰。最優秀受賞者は、障害者の日・記念の集い（12月9日/東京）にご招待、表彰します。

応募先・問い合わせ 県障害福祉課（宮崎市橘通東2丁目10番1号/☎0985-26-7068）

ふおとにゆうす



▼百号の大作を寄贈  
8月2日、「動く美術館」の川島博館長（日本外交協会常務理事）から、市に示現会創立会員の故・中谷健次画伯の作品が贈られました。作品は百号の「ミケーネでの昼食」。男性がくつろいでいる情景で、どの方向から鑑賞しても視線が合うような作品です。贈呈式は市長室で行われ、三樹博市長は「ありがとうございます。来年度完成予定の文化交流センターに展示してたくさんの市民に鑑賞してもらいます」とお礼を述べました。

▼本物そっくり  
日向ラジオクラブ主催の作品展「ラジオコン・フェスティバル」が、7月28日から30日までの3日間、日向寿屋で開かれました。同クラブは昭和49年4月に結成。今年で15周年を迎えたこと、これを記念して開いたものです。会場には、会員たちが真心込めて作り上げた飛行機、ヘリコプター、ヨット、戦車、レースカーなどのラジオコン模型およそ50点が展示され、訪れた人々も熱心に鑑賞していました。



☆広報ひゅうがに載った写真をさしあげます。係までご連絡を！

☆みなさんの身近な話題、ホットなニュースを係までお寄せください。



猛反撃、よくやった！  
夏の甲子園で初の宮崎県代表。日向高校は大会4日目の12日、第2試合で群馬県代表の東農大二高と対戦しました。前半大量点を奪われながらも、後半は持ち前の粘りを発揮、7回には4番黒木良選手が3ランするなど猛追しましたが、あと一步のところまで振り切られて惜しくも涙をのみました。でも、最後までさわやかプレー。応援団が詰め掛けたスタンドからは、大きな声援と拍手が絶えることなく送られました。



楽しい夢の世界へ

すばらしい絵本の世界をぜひみなさんにも——市立図書館は7月25日から30日までの6日間、同館1階ロビーで「よい絵本展」を開きました。展示したのは同図書館の蔵書の中から、長い間子どもに読み継がれてきたものや、ここ10年ほどの間に出た絵本など40冊です。初めて開いた展示会は、夏休み期間中でもあり大好評。小学生から大人まで立ち寄り、手にとって楽しい夢の世界に浸っていました。



★連絡先/市企画課・広報統計係 ☎52-2111内線2213

フォトニュース

気軽にご利用を！  
無料調停相談



相談内容

交通事故、公害、金銭、土地建物、家庭問題など

とき▶9月26日・10:00~15:00  
ところ▶市中央公民館  
主催▶宮崎調停協会連合会  
日向地区調停協会

雇用の門を広げよう

9月は「障害者雇用促進月間」

通称「職安」として知られている公共職業安定所では、障害者を持つ人の求職登録制度を設け、きめ細かな職業相談や職業紹介を行っています。昭和六十三年度中の新規求職の申し込み者は約五万五千人で、うち約三万人が就職しましたが、まだ、就職の機会のない人が、約四万七千人に上っています。働く能力を持ちながらも、なかなか職に就けない人が多いのが現状です。

▼雇用しない理由とは  
障害者を雇用しない理由としてよくいわれるのは「能力が悪い」「障害者に適した仕事がない」などです。しかし、仕事に就いている障害者の中にはその能力を高く評価されている人も大勢います。

もちろん、適した仕事に就いていないということもあるでしょうが、それ以上に、多くの障害者のかたに共通する「ねばり強い性格や不断の努力、誠意ある態度」——がそうした評価を生んでいるといえるでしょう。

▼障害者のための雇用率制度  
国では「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障害を持つ人の雇用促進と安定をはかっています。

この法律では、民間事業主に従業員の一・六％以上の身体障害者を雇うことを義務づけています。



また、雇用率制度を経済的に支えるために、納付金制度が実施されています。これは、雇用率を達成していない企業から納付金を納めてもらい、これを財源として、雇用率を達成している企業へ調整金を支給したり、

障害者を雇い入れる企業に助成金を支給するという制度です。九月は「障害者雇用促進月間」です。障害者のかたが一人でも多く働けるように、あなたの職場でも、障害者への雇用の門を広げてください。

第2・4土曜日今までどおり業務を行う機関

その他	警察	入所型社会福祉施設	青少年の研修施設	週末の利用の多い公共施設	病院・学校
福祉総合センター、食肉衛生検査所、県営国民宿舎など	高速道路交通警察隊、宮崎運転免許センター（免許更新事務）、通信指令室、本部及び警察署の機動捜査隊、各警察署の警用無線自動車係（パトカー）、派出所及び駐在所など（なお、警察本部、各警察署は当直体制となります）	明星学園、こども療育センター、みやざき学園、老人ホームなど	総合青少年センター、ひなもり台東民ふれあいの森、少年自然の家など	県総合運動公園センター、県立図書館、県総合博物館、県体育館、スポーツ指導センター、埋蔵文化財センター、西都原資料館など	県立病院（宮崎・延岡・日南）、富貴園、県立高校、県立養護学校、県立ろう学校、県立盲学校

県・月2回の土曜閉庁  
すでに今月から

県の機関は、八月から毎月の第二・第四土曜日が休みとなっています。

ただし、県立の病院、高校、博物館、図書館、入所型社会福祉施設、少年自然の家などは、今までどおりです。ほかにも、業務を行う機関がありますので、くわしくはご利用の各機関へお問い合わせください。

●伝言板

ご利用ください

市は、市政に対するみなさんのご意見・ご要望を伺うため、市民の声を市庁舎玄関に備え付けています。ぜひご利用ください。

市民の声を行政に反映するため設けられたもので、市民の皆様方の建設的な意見をお聞かせ下さい。

愛されるまちにしたいネ



浄化センター(財光寺・下が浜)

全国下水道促進デー/9月10日

までお申し込みください。

★相談所の設置

排水設備工事、トイレの水洗化、受益者負担金など、下水道に関することならなんでもかまいません。お気軽にご相談ください。

期間 9月6日から8日まで

場所 市役所玄関前

交通制限にご協力ください

今年度も、下水道管を布設する工事を向江町、鶴町などで実施し、片側通行などの交通制限を行う予定です。

市民のみなさんには、いろいろとご迷惑をおかけすることになりますが、快適な生活環境をつくり、自然を守る下水道整備事業の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

9月10日は「全国下水道デー」。これは、下水道建設の必要性や下水道に対して理解と関心を深めてもらい、全国的に促進ムードを盛り上げその推進をはかろうというものです。

市でも、促進デーの一つとして、つぎの行事を行います。ぜひご利用ください。

★浄化センター施設見学会

汚水がきれいになるまでのしくみや下水道施設の維持管理を理解していただくため、期間中、浄化センターを市民のみなさんに開放します。

見学会を希望されるかたは、下水道課

3人目からは児童1人につき2,000円が加算されます。

なお、児童扶養手当の認定請求は、支給要件に該当する日から起算して5年を超えてはできませんのでご注意ください。

くわしくは市福祉事務所(☎内線2163、2164)へ。

●家計簿調査にご協力を

9月から11月までの3か月間、全国消費実態調査が実施されます。

この調査は、国民の暮らし向きを、家計の消費、所得、資産の三面から総合的に把握することを目的として、全国すべての世帯から抽出された世帯を対象に行われます。

結果は、統計としてまとめられ、国や地方公共団体の各種社会や経済施策、福祉政策などの基礎資料として広く利用されます。

調査員がみなさんのお宅に伺いましたら、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

●確定申告書は早めに

4~7月決算法人の消費税

元年4、5、6月および7月決算法人の消費税の確定申告と納期限は、今年の場合、特例で10月2日となっています。

該当する法人は、確定申告書を、期限内に税務署へ提出するとともに、消費税を最寄りの金融機関で納付してください。

また、課税事業者には「消費税課税事業者届出書」提出する必要があります。早めに提出されますようお願いいたします。

くわしくは延岡税務署(☎0982-32-3301)へ。

119番は 落ち着いて正確に 9月9日は「救急の日」

●オープンは来年1月 文化交流センター

市が文化交流の拠点として、中町に建設を進めている文化交流センターのオープンが予定の11月より少し遅れ、来年の1月中旬となります。

これは、建物完成後の各種設備の調整やテスト、会館職員の研修、新たに購入した駐車場の整備——など、開館に向けてのいろいろな準備が必要なためです。ご理解ください。

なお、オープン後のセンター使用については、電話による相談を受け付けています。くわしくは市文化交流センター準備係(☎54-6111)へ。

ほしゅう



●空き家の入居者 市営住宅

今回は、空き家(2種)が生じた場合、それを補充するための募集です。

募集期間 9月1日から14日まで

募集住宅 ①一般用…塩田、大王谷、櫛の山、小松崎、新財市、財光寺北、大原、木原、岩脇、美々津

②単身用…新財市(若干戸)

③母子世帯用…新財市南(若干戸)

入居資格 ①市内に居住、または勤務し、現在住宅に困っているかた ②現在、同居または同居しようとする親族(婚約者を含む)があるかた(単身世帯向きを希望されるかたは除く) ③収入基準は入居者および同居親族の過去1年間の平均月額所得(控除後)が10万円以下であること ④住民税の滞納がないこと(単身・母子世帯向きをご希望のかたはほかに要件があります)。

添付書類 ①住民票謄本 ②63年分の所得証明書 ③給与収入者は、過去1年間の給与収入証明書。自営業者などは、過去1年間の月別収支明細書 ④そのほか市が請求する書類

申し込み・問い合わせ 市建設課(☎内線2346)。なお、1種住宅(収入基準額が10万円を超え、16万2,000円以下)については、随時受け付けています。

●高齢者作品展の作品

9月13日から19日までの7日間、日向寿屋で開く「第2回高齢者総合創作展示発表会」の作品です。ふるってご出品ください。要領はつぎのとおり。

主催 市、市老人クラブ連合会、市社会福祉協議会

資格 市内在住の60歳以上のかた

作品 生活の中で趣味や生きがいとして創作した作品(例=盆栽、竹、木、紙細工、刺しゅうなどの自作または共同作品)。ただし、自分で会場へ搬入・搬出できる作品に限ります。1人何点で

もOK。

応募方法 ①応募用紙(市にあります)にテーマ、住所、電話番号、氏名、年齢を明記して市福祉事務所または老人福祉センター(春原・美々津)へ。

申込期間 9月4日~11日

搬入搬出 搬入は9月12日の午前10時から午後5時までに寿屋3階まで。搬出は同20日の午前10時から正午まで。

記念品 出品者全員に贈呈

問い合わせ 市福祉事務所(☎内線2168)または市老人福祉センター(☎52-6569)、美々津老人福祉センター(☎58-0492)

●洋裁の訓練生

失業保険を受けながら洋裁を学んでみませんか。日向公共職業安定所は洋裁の訓練生を募集しています。

対象は、現在、失業保険を受けてい

ご本人にさしあげます。係まで!



ぼつちりり

るかたや10月以降同保険を受ける見込みのかた(中卒以上45歳まで)です。定員は15人。受講手当のほかに遠方のかたには交通費まで受給できるなどの恩恵があります。

検診を40歳からの習慣に!!

9月/がん征圧月間

スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット——など型紙づくりから仕上げまで、初心者のかたでも短期間(6か月)で習得できます。

入学式は10月3日に延岡技能開発センターで。訓練は松竹洋裁学校(財光寺山下)で行います。

くわしくは日向公共職業安定所(☎52-4131)へ。

今から六十六年前の大正十二年九月一日、関東大震災が発生しました。死者・行方不明者はあわせて約十四万人。こうした災害の恐ろしさを忘れないために、九月一日を「防災の日」に定めています。地震はいつ発生するかわかりません。いつ起きても落ち着いて対処できるような心構えを持つことが大切です。まず落ち着いて身を守る



地震対策を万全に

大きな揺れがあなただけを襲っても、すぐ外に飛び出さず、すぐ外に出たときに、瓦や窓ガラスなどが落ちてきて、思わぬケガをするかもしれないから、ガラスの元栓を締め、電気器具のコンセントを抜くなどして、まず火の始末を、そして、テーブルなどの下に身をかくします。余裕がある場合は、玄関の扉などを開け、出口を確保し、ま

- 危険な場所を避けて避難するときは、つぎのような場所に注意しましょう。
□狭い路地や塀ぎわ
□瓦が落ちてきたり、アロックスやコンクリート塀が倒れたりして危険です。
□川べりやがけ
□地震の揺れで地盤が崩れやすくなっていることが多いので、近寄らないように。
□広場や丈夫な建物があるときは、一時そこに避難して様子を見て、安全な経路を考えたから行動しましょう。
□避難の際の持ち物
最低限、必要なものだけにします。すぐ持ち出せるように日ごろから避難袋を準備しておくことが大切です。また、家族が離ればなれになったときのことを考えて袋の中に家族全員の氏名、住所、非常時の連絡先などを書いたメモを入れておきましょう。

**人口と世帯** <元・8・1> ( )内は先月比

世帯数	19,356世帯	(+7)
人口	59,003人	(-13)
男	27,813人	(-3)
女	31,190人	(-10)

**8・9月の納税**

8月	市県民税	2期
	国民健康保険税	2期
9月	水利地益税	1期
	固定資産税	3期

完納で住みよいまちづくり

●**伝言板**

**ほけん**



●**振動障害の健康診断**

今年も振動障害者特殊健康診断を10月3日、中央公民館で行います。午前9時から午後4時まで。

林業に携わっているかたでチェーンソーや刈払機を使って作業をしているかたは、ぜひご利用ください。

受診ご希望のかたは9月2日までに日向分会(日向国有林協同組合/☎52-5135)へ。

●**健康チェックしませんか**

成人病検診を市内の病院・医院で実施中です(11月30日まで)。対象は40歳以上のかたで費用は無料。

検査の内容は血圧測定、検尿、心電図、血液検査、内科診察——などで、昨年より増えています。

検診日は毎週火、水、木、金曜日で受診されるかたは、当日午前10時までに電話予約が必要です。

くわしくは市健康管理課(☎内線2156、2157)へ。

●**乳幼児の健康診査**

**3か月児**

日時■9月8、22日(13:00~14:00)  
場所■日向保健所(☎52-5101)  
対象■平成元年6月生まれ

**7か月児**

日時■9月13日(13:00~14:00)  
場所■日向保健所(☎52-5101)  
対象■平成元年2月生まれ

**1歳児**

日時■9月7日(13:00~14:00)  
場所■市民健康管理室(☎内線2150)

対象■昭和63年8月生まれ

**1歳6か月児**

日時■9月19日(13:00~14:00)  
場所■市民健康管理室(☎内線2150)  
対象■昭和63年2月生まれ

**3歳児**

日時■9月1日(13:00~14:00)  
場所■市民健康管理室(☎内線2150)  
対象■昭和61年8月生まれ

※時間はいずれも受付の時間です。

母子健康手帳も忘れずに!

●**9月の休日在宅医**

3日■和田病院(内・外・放・脳外科 ☎52-0011) 佐藤医院(内・小児科 ☎52-3324) 滝井病院(内・精神科 ☎52-2409) 田中眼科(☎52-4009)

10日■三股病院(内・外科 ☎58-0034) 今給黎医院(内科 ☎54-2459) 寺尾医院(産婦・外科 ☎63-1447)

15日■渡辺病院(産婦・泌尿器科 ☎57-1011) 吉田医院(内・小児・放射線科 ☎54-4401) 武富医院(皮膚科 ☎52-5522)

17日■千代田病院(外・整外・胃腸・麻酔・皮膚科 ☎52-7111) 柳田医院(産婦人科 ☎52-2950) 大平医院(内・小児科 ☎52-3337)

23日■二本医院(産婦・外・胃腸・放射線科 ☎54-4468) 田中医院(内・小児科 ☎52-2515) 協和病院(精神・神経科 ☎54-2806)

24日■鯨島医院(整形外科 ☎52-8191) 吉森医院(内・胃腸科 ☎52-4046) 永田医院(産婦人科 ☎52-3388)

※当番医がかわる場合があります。テレホンサービス(☎53-1214)で確認を!

とじておくと便利です。

新ひむかまちづくり祭

**美々津軒**

開館時間■9:00~16:30  
休館日■毎週月曜日・年末年始  
入館料■無料

会合に催しにぜひご利用ください。

申し込み・問い合わせは直接「美々津軒」(☎58-1229)へ。

---

**飼い主のみなさん**

**ボクを捨てないで…!**

動物愛護週間  
9月20~26日

■**愛のご寄付**(敬称略)

社会福祉協議会へ(香典返し)

- ▷河野将二(財光寺)▷黒木順子(竹島町)
- ▷小松良二(財光寺)▷黒木敏和(比良)
- ▷東キミコ(地藏)▷甲斐ルリ子(幸脇)
- ▷原田貞子(切島山1)
- ▷海埜睦子(落鹿)▷黒木正己(財光寺)
- ▷黒田ツイ子(永江)▷一政善市(高砂)
- ▷黒田ユミエ(権現原)▷林田光二(浜町)
- ▷内倉セツ(北町)▷黒木吉郎(細島)
- ▷三輪隆(吉野川)
- ▷金井清(梶木)▷鈴木トキエ(西川内)
- ▷赤木エイ子(松原)

**今月の表紙**

ひょっとこ祭りが8月5、6日の2日間、盛大に開かれました。今年会場を富島高校前通りに移してにぎやかに開幕。また、踊りをサンバ調にアレンジした「日向サンバ」も初登場して祭りを盛り上げました。



**ピリオド**

甲子園。日向高校野球部が学校創立15周年目にして初出場。県代表校として健闘した。念願の校歌を聴くことはできなかったが、終盤、持ち味を生かした猛追撃を展開。みごとな戦いぶりに胸が熱くなる思いだった。栄光のドラマ。その熱き思いをバネに、来年、校歌を歌って欲しい。野球部ナイン、すばらしい夏をありがとう。<隆>

印刷/藤屋写真印刷株式会社

▼人権相談/9月6日・10時~15時。美々津公民館